

グローバル社会における子どもの学び アートマイル国際交流 壁画共同制作プロジェクト



New Education Expo 2018
東京会場 2018.6.9



一般財団法人ジャパンアートマイル
理事長 塩飽 隆子

ジャパンアートマイルとは

【理念】

一般財団法人ジャパンアートマイルは、自国の伝統文化に誇りを持ち、グローバルな広い視野をもって自ら考え行動し、多様な文化背景を持つ人々と協働して新しい価値を創造する人材の育成を通じて、平和な世界の実現をめざします。

アートマイルプロジェクトとは

アートマイル国際交流壁画共同制作プロジェクトは、世界の多様な文化背景を持つ相手と文化の違いを超えて共通のテーマについて学び合い、学習の成果として壁画を共同制作する国際協働学習です。

【後援】文部科学省・外務省

【協力】国際協力機構

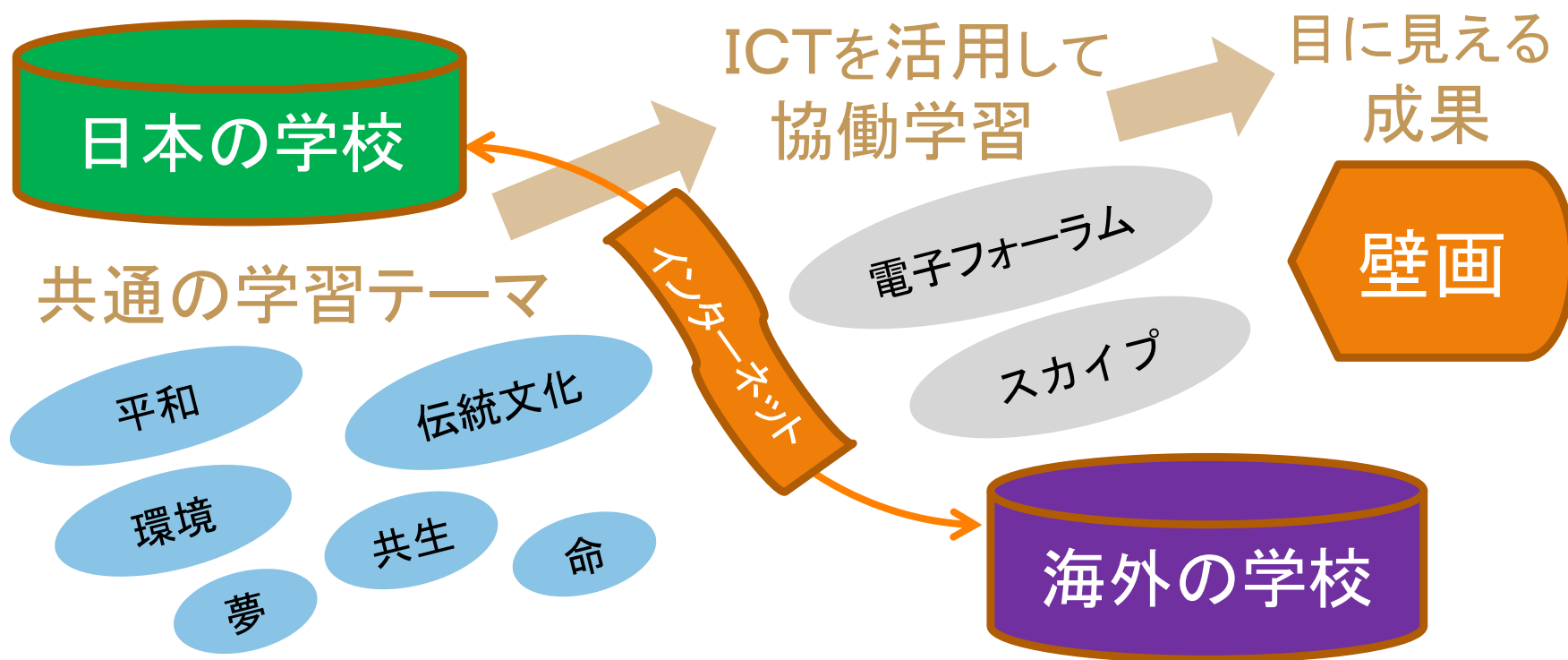
JAMはSDGsを支援しています



67の国と地域から 1,277校 44,019名の児童生徒が参加

世界の同世代と学び合う アートマイル国際協働学習

「アートマイル国際交流壁画共同制作プロジェクト」



教科等の連携

総合、国語、社会、英語、外国語活動、情報、生活、道徳・・・

今、なぜアートマイル？

国際社会で求められる力

急速にグローバル化が加速する社会
想定外や不確実性が増大する時代



決まった答えがない問題を
多様な文化背景・価値観を持つ人と
対話的・協働的に問題を解決する力
新しい価値を生み出す力

学校教育で育むには

文化も考え方も違う世界の同世代と
共通のテーマで継続的に学び合い
一緒に課題を解決しながら

無から有を生む国際協働学習
主体的・対話的・協働的



思考力・判断力・表現力



アートマイルの国際協働学習
世界の人々と協働する原体験

国際協働学習の流れ



段階を追って進む 国際協働学習の流れ

1 【出会い】 自己紹介

世界と出会って視野が広がる、自分たちの良さに気付く

2 【共有】 テーマ学習

類似点・相違点を見つけ、新たな視点でテーマについて考え、意見交換して学習を深める

3 【融合】 想いを形に

双方の想いを合わせて世界に訴えるメッセージ作成
→メッセージに込めた想いを形にして壁画のデザイン決定

4 【創造】 壁画制作

海外の相手とゼロからものを生み出す“協創”

5 【評価】 振り返り

アートマイルを通して自分がどう変わったか自己評価

国際協働学習の流れ



フォーラム

＜自己紹介＞ ～個と個が繋がる～



テレビ会議

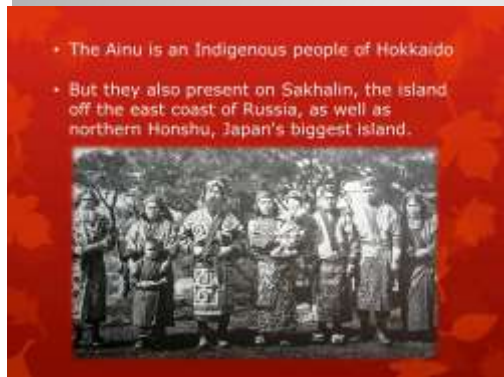
親密感が一気に増す



1. 「出会い」 自己紹介

テーマ例：平和・地域の文化・環境・エネルギー・将来の夢

日本のことを
相手に伝える



教え合い
学び合い



相手の国のこと
を教えてください



新たな視点で
もう一度考え
学びを深める

2. 「共有」 テーマ学習

双方の想いを合わせて世界に訴える メッセージを作成

日本の緑地はいかに自然が
伝わると思う。
文化の楽しさが伝わるか
と思う。
いろいろな建物や水、森にすんでいる
生き物の特長も知ってもらいたい
(伝えたい)
と思う。
いろいろな儀式のやる事を見て知
もらいたいと思う。
青い空の明るい自然が伝わる
ほしいなと思う。
いろいろな動物や植物たくさん
の緑の自然が伝わると思う。
生き物をそれぞれがうすみせにつ
も伝わるかいいかなと思う。



未来を選ぶのは私達
私達の決断が導く未来は
平和？戦争？どっち？

周りの景色は全然違うけれど
同じ太陽を見ているから
世界はひとつ！

水は自然、動物、人間、全ての命の源
水が豊かな国も、水が不足している国も
一滴の水を大切にしよう！

文化や習慣、環境は違っても
私たちはまあいい地球に共に暮らす友だち
一緒に地球を素敵な世界にしていこう！

メッセージに込めた想いを形にして 壁画デザインを決定

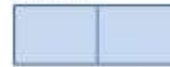
海外と共同制作

どうやって半分にするの？ どうやって一緒に完成させるの？

日本側がキャンパスの半分は絵を描いて相手の国に送り、相手側が自分の半分を描いて壁面を完成させます。
どちらの横断にするか、どの部分を描くかという相違は、テレビ会議や電子フォーラムなどインターネットを活用して行います。

絵の構図パターン

●縦に半分



お互いの文化について教え合い、相手の文化や
相手の文化についても描きました。



大阪府堺市立東区中学校
と、フィジーのVavaya中学校

●斜めに半分

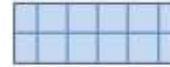


自分の国の文化を教え、日本は四季と人々の
暮らしを描きました。



石川県金沢市立西小中学校
と、マダガスカル島のTomboky中学校

●市松模様に半分



お互いの一年の伝説を教え合ってから、見聞の
行事を交流に描きました。



石川県金沢市立西小中学校
と、台湾の桃園市立南平国小

●入り組んだ分け方



環境と文化について教え合い、内閣閣に描き
加えて描きました。

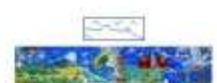


兵庫県神戸市立西小中学校
と、インドネシアのPondok Pesantren Al-Farooq

●その他のパターン

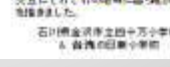


お互いにそれぞれの国に描き加えた要素
を描きました。

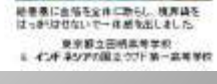


石川県金沢市立西小中学校
と、台湾の桃園市立南平国小

●その他のパターン



自然と環境について自分の4年間の相手の
地域の関わり合いを描きました。



兵庫県神戸市立西小中学校
と、インドネシアのPondok Pesantren Al-Farooq

3. 「融合」 想いを形に



日本側が先に半分を描いて相手に送り



後の半分を相手が描いて



完成！

「ウガンダと日本の
自然・文化・人々」

4. 「創造」 壁画制作



- A. 完成作品を鑑賞する
- B. 全体を振り返ってまとめる
→クラス内で発表・相手と共有
- C. 一人一人が自己評価する
(ワークシート・作文・レポート等)

世界に実在する相手と
リアルに学び合う



世界で起きていることを
自分事として捉える



全体を振り返って

自己評価



自己変容

5. 「評価」振り返り

生徒の意識の変容 <事例>

▼世界を平和にするためには、自分が何を考え、
どう判断し、どう行動するかだと思えるようになった



平和をテーマに協働学習

ネパールの学校と平和をテーマに学習。
日本側は社会の先生の協力を得て「憲法9条」を勉強し、英語の先生の協力を得て「憲法9条」を英訳してネパールの生徒たちと共有し、平和とは何か、平和な世界をつくるために自分に何ができるのかを議論した。

<生徒の感想>

- ・他の国は平和についてどのような考えを持っているのだろうか考えるようになった。
- ・日本人はもっと自分の国と他の国との関係について考えた方が良くと思う。日本の政治についてももっと考えていかないとダメだなと思った。
- ・選挙で政治家をちゃんと選ばなくてはいけないと思う。

アートマイルで育つ力

①異文化を理解する力

異文化と出会って多様な価値観を理解する
自分たちの良さに気付いて自文化理解が深まる

②批判的に思考する力

外からの視点でものを見ることにより客観的、批判的に
考える力がつく

③主体的に考え行動する力

相手がいることでもっと伝えたい意欲、もっと知りたい
意欲が高まり、自分から工夫して考え行動するようになる

④多様な他者と協働する力

学級内だけでなく世界の相手と対話的・協働的に学び合い、
協力して一つのものを創り上げる力が育つ

⑤想いを言葉や形にする力

相手や世界の人に伝えたい想いを言葉で表現する力、
想いを絵で表現する力が育つ



「未来を創る力」

・教科横断的に取り組むことで、各教科等で身に付けた知識を総合的に活用して「思考力」「判断力」「表現力」が育ちます。

・自ら意欲的・主体的に学び相手と対話的・協働的に学び合って、無から新しいものを生み出す力が育ちます。

「ついた力」の調査・分析（2017年度実施）

▼ 2017年度の日本の参加校を対象に
「アートマイルでついた力」について9項目で
調査、それぞれの力がどのようについたのか、
つかなかったのかを分析

- ① 自文化を理解する力
- ② 異文化を理解する力
- ③ 情報活用能力（収集・まとめ・発信）
- ④ コミュニケーション力（双方向・共感・英語）
- ⑤ 批判的に思考する力（客観的・論理的視点）
- ⑥ 主体的に考え行動する力
- ⑦ 他者と協働する力（学級内・海外の相手）
- ⑧ 想いを言葉や形にする力（メッセージ作成・壁画制作）
- ⑨ 評価する力（作品の鑑賞・学習の自己評価）

▼ 小学生と中学生・高校生に分けて、
「ついた力」を5段階で評価した。

「とてもついた」「ついた」「どちらともいえない」
「あまりつかなかった」「つかなかった」

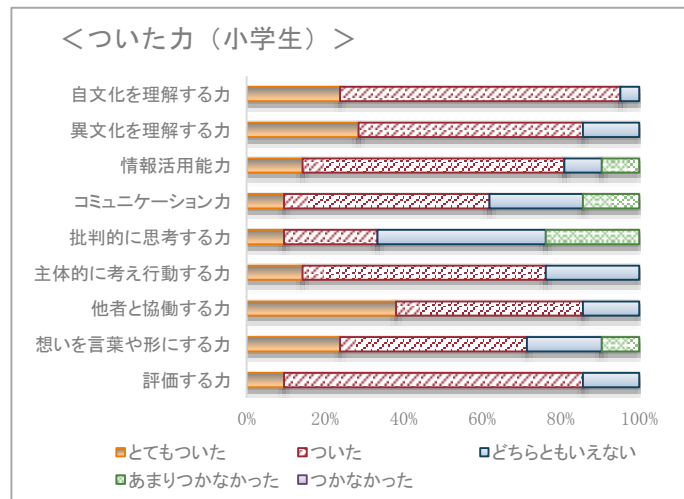


図1 小学生のついた力

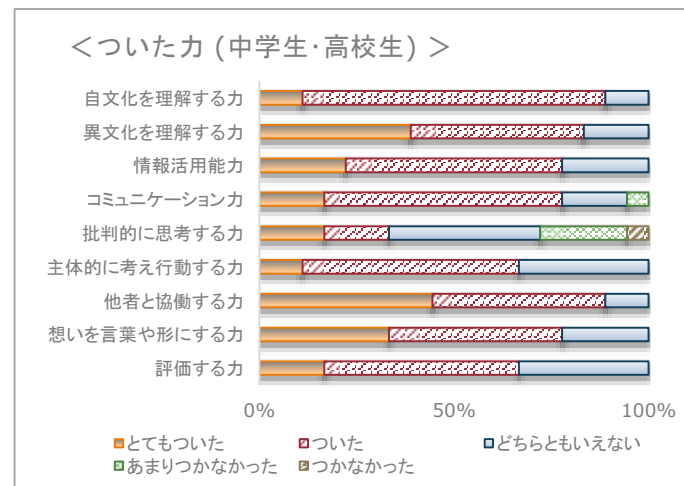


図2 中学生・高校生のついた力

調査の分析と課題

■「とてもついた」「ついた」力

小学生・中高生共にとても高かった3つの力

「自文化を理解する力」 (小95%、中高89%)

「異文化を理解する力」 (小86%、中高83%)

「他者と協働する力」 (小86%、中高89%)

＜自文化理解＞相手に地域の良さを伝えることで地域の魅力を実感。相手と比較することで視点が広がり、自分たちの文化を客観的に見つめ直すことができた。

＜異文化理解＞知らない世界を知る驚きと喜びがあり、積極的に情報を共有することで理解が深まった。

＜他者と協働する力＞相手と心を通わせることができた。メッセージを相手と摺り合わせる過程がさらに相互理解を深め、協働を促した。

■「あまりつかなかった」「つかなかった」力

小学生・中高生共に多かった「つかなかった力」

「批判的に思考する力」 (小24%、中高28%)

＜批判的に思考する力＞相手とコミュニケーションをとるのが精いっぱい、批判的思考までたどり着けなかった。類似点や相違点をじっくり見て批判的に考えるところまで至らなかった。児童だけでは批判的思考は難しい、教師から批判的に見る視点や調べる視点をもっと伝える必要があった。

●考察と課題

「批判的に思考する力」が最も低かったのは、これまで日本の学校教育の中で「批判的思考」の教育はほとんどなされてこなかったからだと思われる。教師自身が、批判的思考とはどういうことか？アートマイルにどのように仕組むか？が描けていない。

アートマイルに取り組むには、教師自身が常に変化し、成長する覚悟が求められる。なぜなら、教師にとっても知らない世界との出会いであり、文化背景の異なる相手と初めての協働体験であり、相手がいるが故に想定外が起きるから。

自ら変化し、成長する教師には、これまでにない成果と達成感が得られる。

教師の意識の変容

▼7ヶ月継続する国際協働学習をマネジメントすることで 教師力が磨かれる！

世界の多様な他者とインタラクティブに協働する力
想定外の出来事に直面したときに課題を解決して前に進む力は
子どもたちより先に教師に求められる

アートマイルは子どもが鍛えられる！
実は、それ以上に教師が鍛えられる！

アートマイルは教師の教育力の
向上に直結すると感じた。

教師の言葉

相手校からの返信には毎回、喜んだり、驚いたり、考えさせられた。途中、迷ったり、悩んだりしたこともあったが、教師と児童が学習を共に作り上げていくという意識で取り組めた。

国際理解教育がこれほどまでに簡単でダイナミックに行えることに感銘を受けた。子ども自身が国際協働の最前線に立てることはすばらしい！

直面する課題を切実かつ自分のこととして捉え、心の底から「解決したい」と願いながら乗り越えようとしたとき、子どもたちは思った以上の力を発揮し、それを自らの力にしていくことを実感した。

教師に求められること

明日の日本人、未来を創る次世代を育てているという **自覚**
自らが世界と向き合って協働する **覚悟**

JAMのサポート

ネットで国際協働学習といわれても・・・
海外校と共同制作といわれても・・・

どうやって相手とコミュニケーションとるの？
どうやって相手と協働学習すればいいの？
どうやって海外の学校と1枚の絵を描くの？

- ・ 海外のパートナー校を紹介
- ・ 協働学習の指針となる授業カリキュラムモデルを提示
- ・ 相手と1対1で交流できる電子フォーラムを提供
- ・ 教師用メーリングリストを開設し、円滑な国際協働学習をサポート（日本語・英語）
- ・ コーディネーターが進捗状況を見守り、相手とのやりとりが途切れないようにフォロー

世界に広がるアトマイル

67の国・地域から1,277校
44,019人の児童生徒が参加

【世界から参加：67の国と地域】

アゼルバイジャン、アメリカ、アラブ首長国連邦、イギリス、イタリア、イラン、インド、インドネシア、ウガンダ、エクアドル、エジプト、エチオピア、オーストラリア、オマーン、ガーナ、カタール、カナダ、カザフスタン、カメルーン、韓国、キプロス、キルギス、グアテマラ、ケニア、コスタリカ、サウジアラビア、サモア、ザンビア、ジャマイカ、シリア、シンガポール、ジンバブエ、スイス、スリランカ、セネガル、セントルシア、タイ、台湾、タンザニア、中国、チュニジア、デンマーク、ナイジェリア、ナミビア、ニカラグア、日本、ニュージーランド、ネパール、パキスタン、パレスチナガザ、東エルサレム、フィジー、フィリピン、ブラジル、フランス、ベトナム、ペルー、ポーランド、ホンジュラス、マラウイ、マレーシア、メキシコ、モロッコ、ヨルダン、リトアニア、ルワンダ、ロシア



【国内の参加：33都道府県】

北海道、宮城県、秋田県、山形県、茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、新潟県、富山県、石川県、福井県、山梨県、長野県、岐阜県、静岡県、愛知県、三重県、滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、岡山県、香川県、福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、鹿児島県、沖縄県



世界の人々と協働して
未来を拓く次世代を育成



[URL] <http://artmile.jp>
[Email] jam@artmile.jp